

今後の要望に対する費用対効果について

「SharePoint Online」でのサイト展開について

組織(企業)内での「SharePoint Online」でのサイト展開の方針は、「モダンチームサイト」で展開する予定で作業は進められています。しかしながら、サイトテンプレートを活用して展開を想定している場合は、「PowerShell」にて、移行先サイトの設定をカスタムスクリプトを有効にする必要があります。 ⇒ [SharePointを学ぼう_17.MS回答1_モダンとクラシックについての問合せと回答.pptx](#)

今後、想定されるユーザー要望の内容に沿った設定やサイト構築を行って行くにあたり、以下の検討・配慮が必要と思われる。

作業要望	現状	「Yes」○の場合	「No」×の場合
テンプレートを活用してサイト展開	○	工数:展開サイト数×0.5Day程度 テンプレートにてサイト展開し、要望に合わせてリストテンプレートを展開	工数:展開サイト数×2～3Day 要望に合わせて、サイト毎にリスト作成とサイページの編集が必要
サイト設定: カスタムスクリプトを有効化	○	工数:小(短期間) テンプレート、WikiPage、Webパーツが使用可能なため、想定されるユーザー要望対応はすべて対応可能な環境になっている	工数:大(実現可能な仕様からの検討が必要) モダンの基本機能だけは利用可能な環境で、サイト構築や想定されるユーザー要望の個別対応は限られた内容になる。 PowerAppsでの対応が必要。
モダンUIで不可能な機能はクラシックUIで作成しても良いか	?	工数:小(短期間) テンプレート、WikiPage、Webパーツ、専用Webパーツの作成&展開が可能のため、想定されるユーザー要望対応はすべて対応可能であり、作業期間も短い	工数:大(実現可能な仕様からの検討が必要) モダンの基本機能だけでサイト構築なので、想定されるユーザー要望対応はか限られる PowerAppsでの対応、MSFormでの対応検討が必要であり、相応の作業期間を必要とする
今後の運用でサイト構築が必要な場合、既設のノウハウの活用可能な度合	?	工数:小(短期間) テンプレート化した資産の活用、WikiPageのエディターベースでのコピーが可能のため、作業期間と手間、構築ノウハウも余り必要ない	工数:大(実現可能な仕様からの検討が必要) モダンの基本機能だけでサイト構築なので、基本すべて新規のサイト構築となるため、想定されるユーザー要望対応はか限られるし、期間も必要。 PowerAppsでの対応、MSFormでの対応検討が必要であり、相応の作業期間を必要とする

モダンサイトとクラシックサイトの比較

モダンサイト(モダンUI)やPowerシリーズは発展途上にあるため、ユーザーは、「クラシックUI」から「モダンUI」へ切り替えていく前に評価・検討を行っているのも事実です。

ここでは、「モダンUI」と「クラシックUI」の比較(フィット&ギャップ)にて、基本ポリシー検討の要素となる機能の現状把握について、以下に記載します。 ※2022年5月下旬現在

リソース	評価	モダンサイト(モダンUI)	クラシックサイト(クラシックUI)	コメント
サイト		※		
表示画面		・サイトページのみ	・Wikiページもサイトページも利用。何でも可能。 ・Wikiページはサイトページに比較し表示が早い	サイトページはレイアウトの自由度が少ない。
セッション		・セッション毎に最大3列の分割が可能 ・縦方向のセクションも追加可能	・セッションの代わりにテキストのレイアウトがある ・1段組で表を挿入し自由なレイアウトに対応する事で自由度のあるレイアウト編集が可能	
アプリパーツ(リストとライブラリ)		・ページ内専用のビューの編集はできない	・すべてのアプリパーツの組込みが可能 ・ページ内でパーツの総ての専用ビューの編集が可能	
ニュース Webパーツ		・サイトのページを流用したニュース投稿が可能	・ニュース(サイト)フィードがあり、ディスカッションが可能	
イベント Webパーツ		・固定レイアウトで予定表に連動。不具合有り	・予定表のビューの組込みが可能	
クイックリンク Webパーツ				
埋め込み Webパーツ				
カスタマイズ		・JSONを活用した表示系カスタマイズは可能 ・その他のカスタマイズ用Webパーツがない	・用途に合わせた数々のWebパーツがある	
コンテンツ				
カスタムリスト		モダンページのみ	クラシック	
ドキュメントライブラリ				
表示関連カスタマイズ		・JSONを活用した表示系カスタマイズは可能 ・PowerAppsを活用して対応可能		
処理関連カスタマイズ		・Powerシリーズを活用して対応可能		

モダンサイトの編集方法の検討

「SharePoint Online」に於いて、よく耳にするのは、以下のキーワードかと推測します。

- サイトに係わるキーワードとして「クラシックとモダン エクスペリエンス」、「モダンサイト」「クラシックサイト」
- サイトを表示するデフォルト画面としてモダンサイトは「サイトページ」、クラシックサイトは「WikiPage」
- 「Power PlatForm」、「Teams」、「Office365グループ」、「ハブサイト」

「働き方改革」も「クラウド環境へ管理データの一元化」「メールレス化」「ペーパーレス化」の対応が加速されています。

その世の中に流れに合わせて、2年前頃より、従来の「レガシーシステム」を「Microsoft365(「SharePoint Online」)へ移行検討された組織は、基本ポリシーは「モダンなエクスペリエンス(User Interface)」で可能な限りサイト構築を推奨し、「モダンサイト」で「モダンページ」を採用されています。

その理由としては、マイクロソフトが発信している、以下の情報による物と推測します。

- ページの設定・編集は利用可能な機能・内容が少ないため操作も容易
 - リストやライブラリのアイテム数のしきい値が「5,000件」から「20,000件」に拡大
 - 携帯端末「Padやスマートホーン」で観た画面はPC閲覧時と同じでレスポンス
 - 「PowerPlatForm」は 可能な限りローコードで実現できるツールで「モダンUI」を採用、「Teams」も「モダンUI」を採用
- ユーザー側も「クラシックなエクスペリエンス(UI)」が数年後は使えなくなる？という不安もあり、ポリシーを決められたのかと推測します。

しかしながら、サイト展開作業ですぐに直面するのは、「設定が容易は = 期待するレイアウトや機能が実現不可能」という現実です。

- サイトテンプレート、リストテンプレート機能が使えない ⇒ サイト展開に膨大な時間(費用)が掛かる
- ページレイアウトは期待通りのレイアウトにならない ⇒ サイトページで使用できるパーツで可能なレイアウト編集は難しい
- ページ編集機能を簡単にパーツ化できない ⇒ 従来のWebパーツやそれを継承した個別Webパーツは使えない
- 従来、実現できた機能が「PowerApps」でないと実現できない ⇒ コンテンツの作成に膨大な時間(費用)が掛かる

上記の問題を解決するため、一部のユーザーは「モダンサイト」に対して「カスタムスクリプト」を有効にする「PowerShell」を1行実行し、設定を変更して「クラシックサイト」の有用な機能を有効にするユーザーも多く見かけられます。

「ページの設定は内容が少ないため操作も容易？」に直面したユーザーにご紹介したモダンサイトの編集方法事例をご紹介します。ユーザー要望は、「画像の表示高を小さくし、可能な限りスクロールせずに画面内で表示したい」・・・でした。

モダンサイト・モダンページの懸念事項について

「モダンサイトページ」では設定できない事柄は今後の課題にもなるので、運用前に考慮したサイト展開が必要です。

- モダンサイトの標準設定ではテンプレートも作成できない ← PowerShellの実行にて「カスタム スクリプトの有効化」の実施
既に検証済：★詳しくは、「SharePointを学ぼう_17.MS回答1_モダンとクラシックについての問合せと回答.pptx」を参照してください。
- モダンページには「予定表」「アンケート」「ディスカッション掲示板」「タスク」が配置できない
「埋め込み」Webパーツで、***.aspx を表示させる。但し、レイアウト編集を行う必要があります。
- ページ内に張付した クイックリンク「ボタン」毎にカラー設定ができない。「ボタンや画像」の高さ設定ができない。
仕様であり、編集や設定も限定されているため、そのままの運用になります。
- 「ニュース」への投稿記事が サイトのページ に 意味不明な命名で作成 されてしまう
仕様であり、編集や設定も限定されているため、そのままの運用になります。
- Microsoft提供の「サイトテンプレート(モダンUI)」の予定表の不具合が一向に改修されない
不具合の認識されていないようであり、そのまま、運用制限での活用になります。
- 拡張リッチテキストに画像を張り付けても反映されない場合がある
不具合の認識されていないようであり、そのまま、運用制限での活用になります。
- モダンページ(モダンUI) と WikiPage(クラシックUI) の右上歯車が表示される迄の時間を検証したが、WikiPage(クラシックUI)
の方が半分以下の時間で表示され早い。
モバイル対応の仕組みから、ページ表示が数倍遅くなっているが、仕様なのでそれを理解した運用が必要です。
モバイルでの運用を考慮しない場合は、モダンページ(モダンUI) の利点は少ない。不具合も多いので、運用管理者を大変。
- よく使用している「Webパーツ」がモダンページでは使用できないため、よくあるユーザー要望が対応不可能
ユーザー要望に対応するため、クラシックUIでカスタマイズに使用される「スクリプトエディターWebパーツ」をモダンUI用に準備
するには、「SharePoint Framework」でWebパーツを追加する必要があります。
★詳しくは、「SharePointを学ぼう_17.モダンサイトの編集「スクリプトエディタを利用」.pptx」を参照してください。

モダンサイト・モダンページの懸念事項について

モダンサイトもモダンページも開発途中中? であり、以下の点を気を付けながらサイト構築や運用を行って行く必要があります。

サイトページにアプリパーツを張付けた後にコンテンツ側でレイアウト変更やデータ削除をした場合、サイトページ表示が連動させない。
また、コンテンツの和名を変更しても、サイドリンクバーの和名も連動して表示変更されない。
その他、以前のクラシックサイト(クラシックUI)と比較した場合、**不具合とを感じる処**が点在する。

● サイトトップ画面

コンテンツ和名が異なる
連動表示されていない

コンテンツ和名が異なる
連動表示されていない

実データがないのに表示
されている

コンテンツ和名が異なる
連動表示されていない

実データがないのに表示
されている

● コンテンツ 一覧画面

コンテンツ和名が異なる
連動表示されていない

● ライブラリ 一覧画面

ファイルをここにドラッグします

モダンページの編集使用は、Webパーツを追加した場合、下部にそれ相応の空きスペースができてしまう事を念頭にいたレイアウトの検討が必要です。

特に「埋め込み」Webパーツは想定以上の空きスペースがあります。

表示を消せない

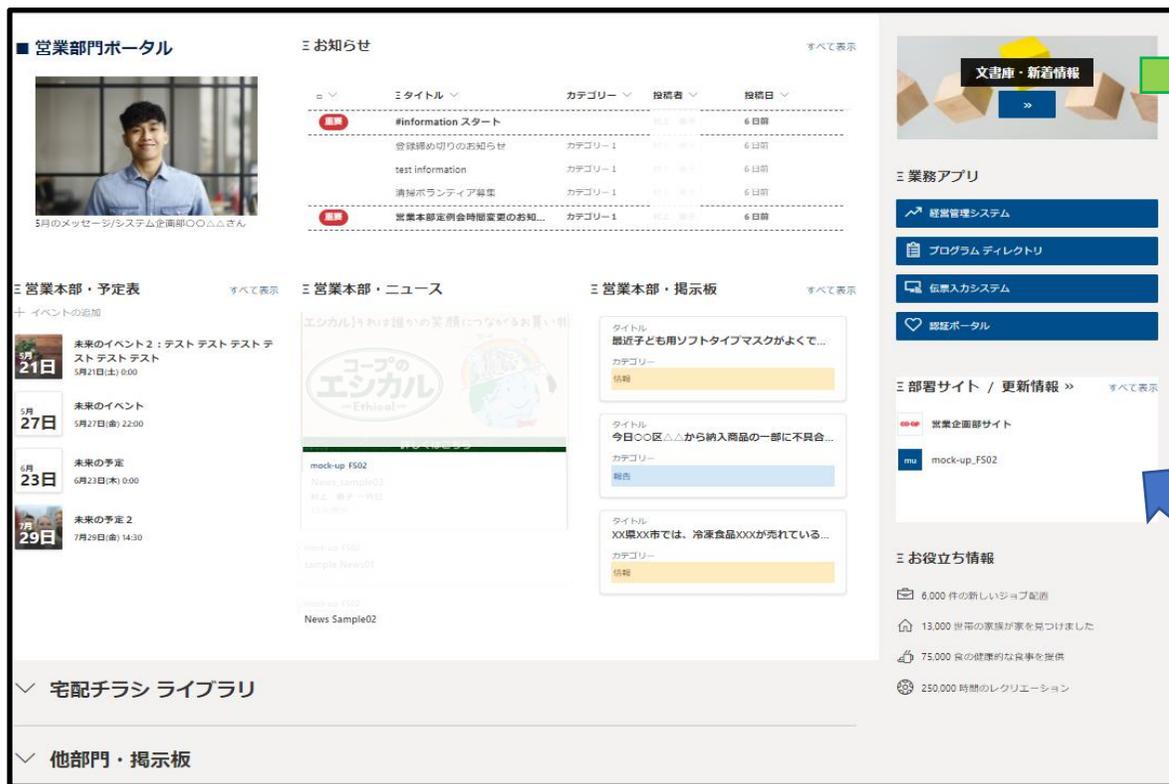
空きスペースを詰められない

モダンサイトの編集方法の検討

(1) サイトページの編集方法の検討

サイトページのレイアウトは、最大横3列設定しかできません。

現在、提案している「ポータル」のレイアウトは、一見、4列構成で可能な限り、多くの情報をサイトに遷移した時に表示するトップページに掲載するレイアウトとなっています。※ハブ構成サイト例



★実際の列 構成レイアウト
背景色が白色の部分 設定の確認が重要(胆)?

画像 Webパーツ	リスト Webパーツ	コールとアクション Webパーツ (RecycleBin) + クイックリンク Webパーツ + サイト Webパーツ
ドキュメント ライブラリ Webパーツ(アコーディオン指定)		
リスト Webパーツ (アコーディオン指定)		???

★背景色が薄緑部分がセッションで連結されている
設定内の確認が重要(胆)?

★一見 4列構成に見えるレイアウト

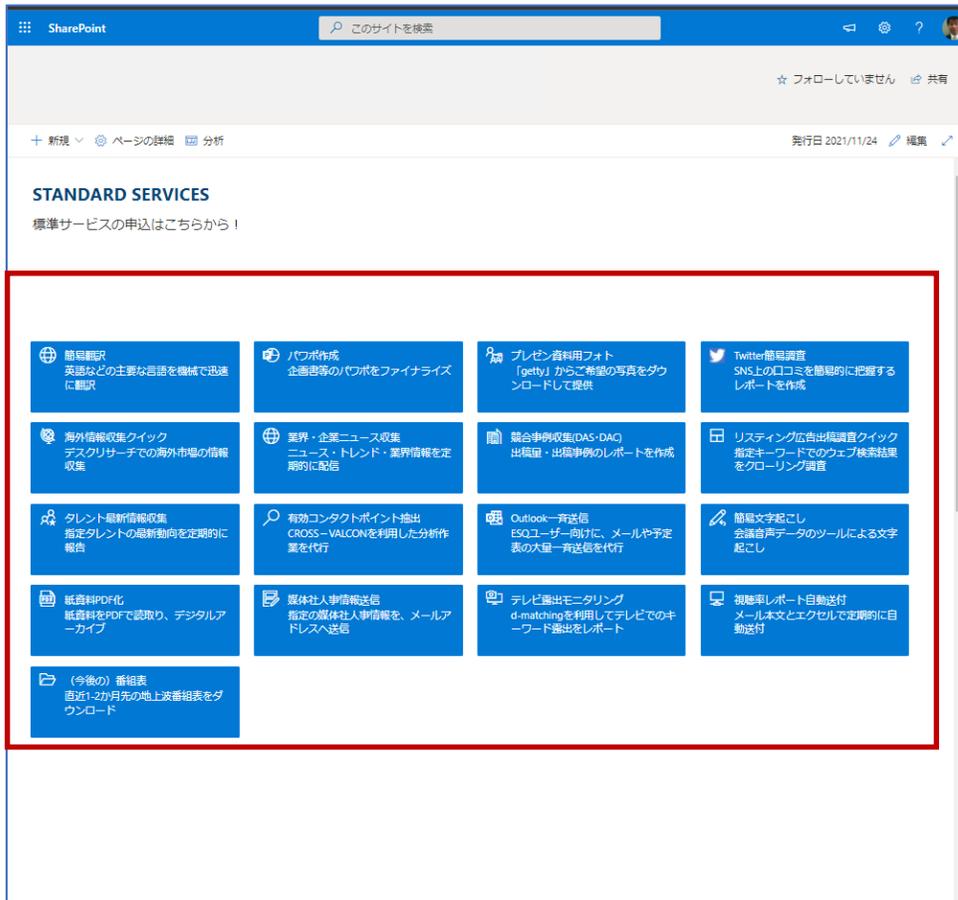
画像 Webパーツ	リスト Webパーツ		コールとアクション Webパーツ (RecycleBin) + クイックリンク Webパーツ + サイト Webパーツ
イベント Webパーツ	ニュース Webパーツ	リスト Webパーツ	
ドキュメント ライブラリ Webパーツ(アコーディオン指定)			
リスト Webパーツ (アコーディオン指定)			???

モダンサイトの編集方法の検討

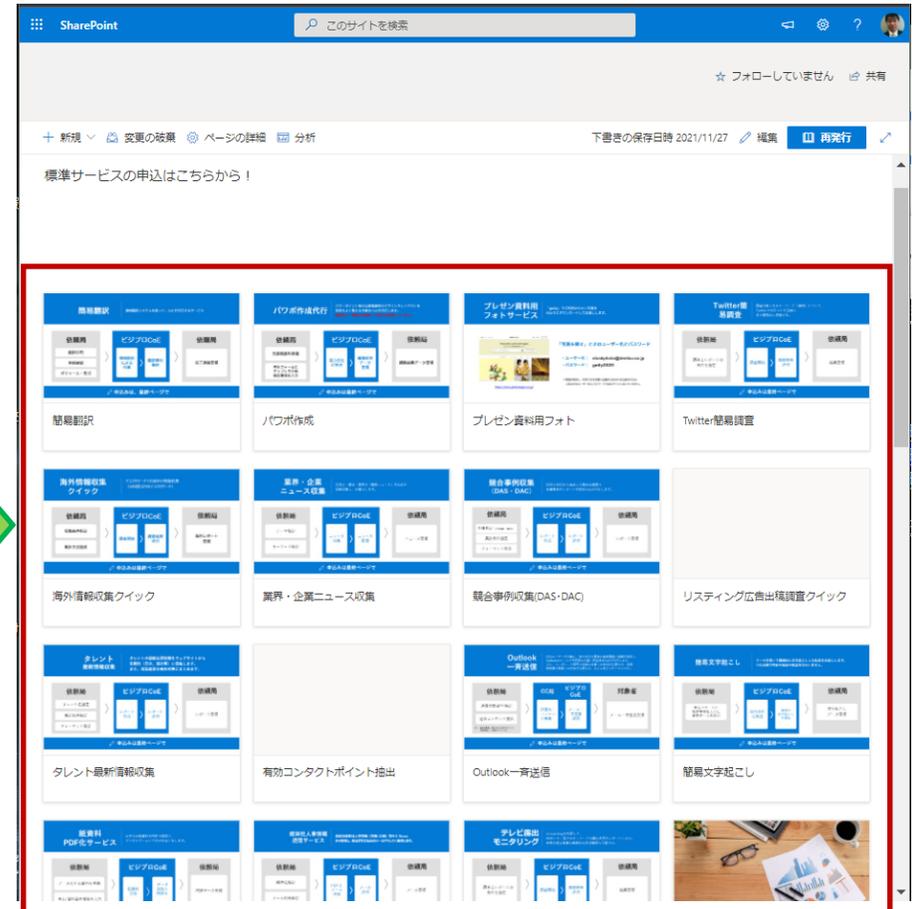
(2) 既設サイトのサイトページの編集方法の検討

サイトに対し「アイコン(画像)+説明」の要望検討(案) は以下の通りです。

● 既設の TOPサイトのレイアウト



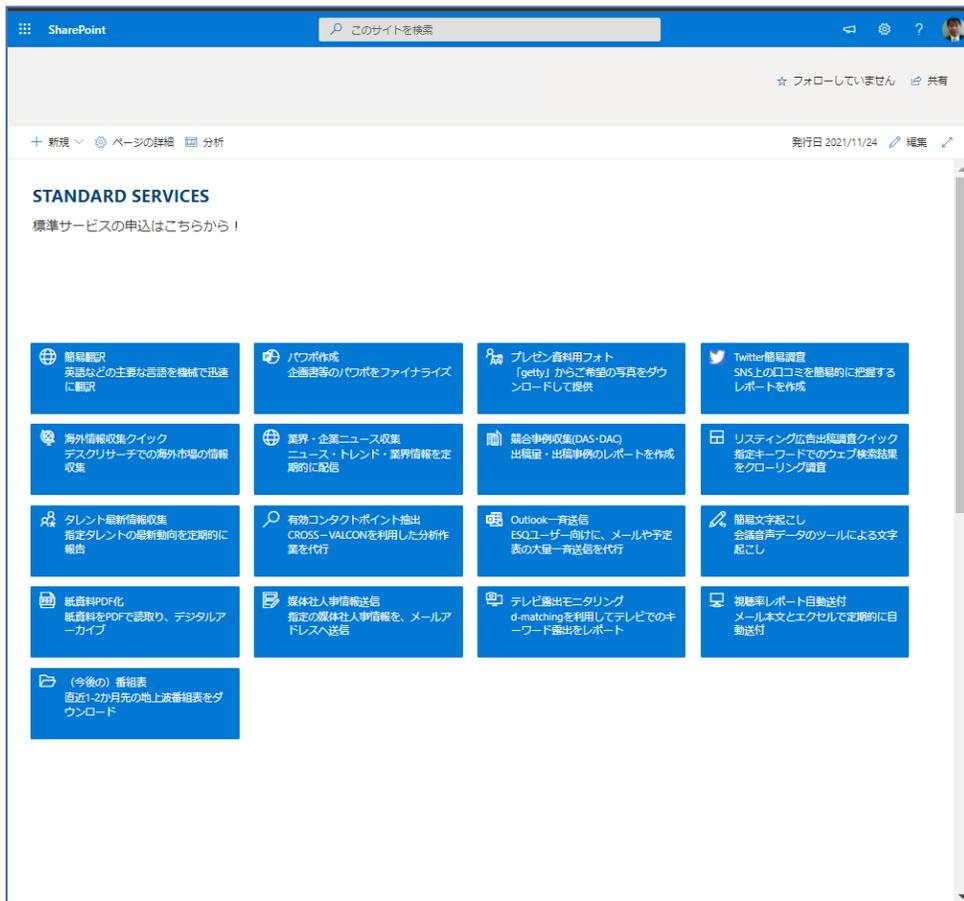
● アイコンを画像イメージに変更



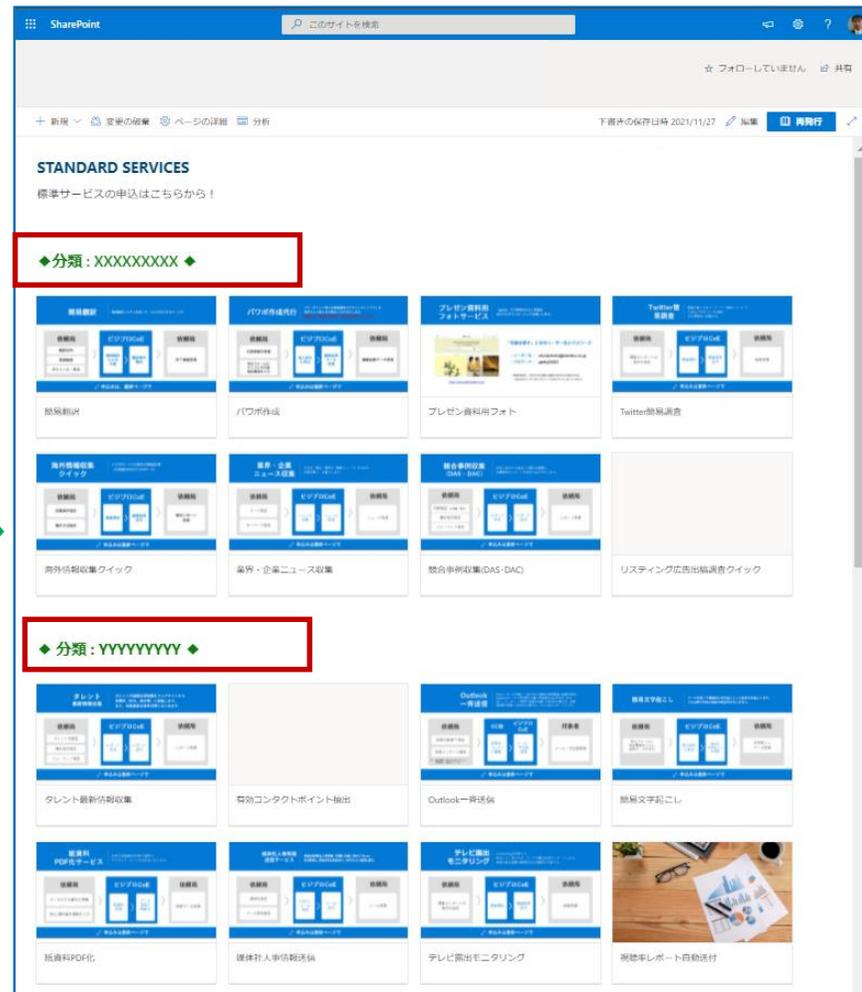
モダンサイトの編集方法の検討

サイトに対し「**分類別にアイコン(画像)+説明**」を配置の要望検討(案1) は以下の通り。

● 既設の TOPサイトのレイアウト



● 分類別にアイコンを画像イメージを配置



モダンサイトの編集方法の検討

● 既設の TOPサイトのレイアウト (検証①) - サイトの最適なボタンサイズ「アイコン(画像)+説明」の検証結果

結論 モダンUIで画像イメージでクイックリンクを表示する場合、グリッドを使用しますが、
画像サイズには関係なく、グリッドの大きさはきまっているため、エリアの高さは変更できない

簡易翻訳
英語などの主要な言語を機械で迅速に翻訳

【現行のボタン】
全画面表示でキャプチャー取得時のサイズ：318×114 pix

簡易翻訳

依頼局

ビジプロCoE

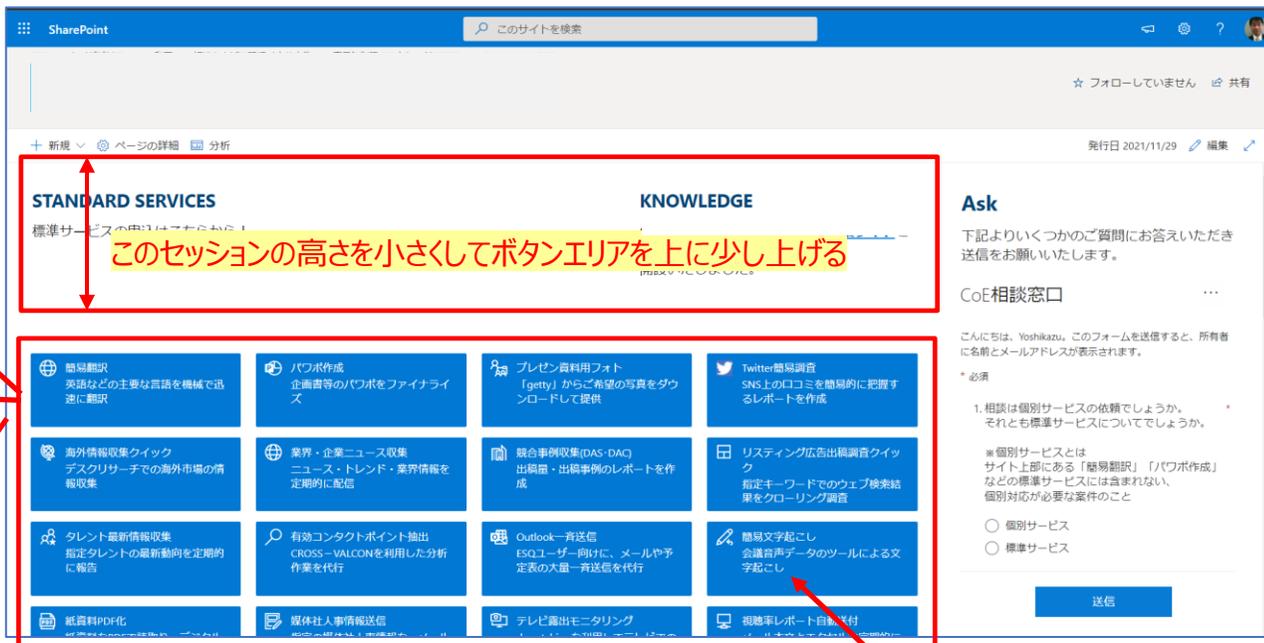
依頼局

【自動選択設定案】
簡全画面表示でキャプチャー取得時のサイズ：334×262 pix

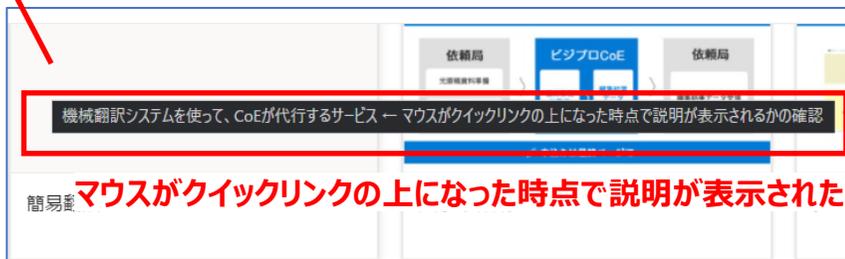
簡易翻訳

機械翻訳システムを使って、CoEが代行するサービス

【画像イメージ入換検討】
全画面表示でキャプチャー取得時のサイズ例：320×180 pix



マウスがクイックリンクの上になった時点で説明が表示されるかの確認



「ボタン」→「グリッド」に設定変更すれば、画像が設定可能



モダンサイトの編集方法の検討

● 既設の TOPサイトのレイアウト (検証パターン比較) - サイトの最適なボタンサイズ「アイコン(画像)+説明」の検証結果

【案①】自動選択 PDFの上段表示

海外情報収集クイック

【案②】画像使用 画像入換え可能

【グリッドサイズ】 240×190 pix

簡易翻訳
英語などの主要な言語を機械で迅速に翻訳

英語などの主要な言語を機械で迅速に翻訳

- ・上部にサービス表示
- ・下部に説明表示
- ・マウスをかざすと説明表示

【案③】クイックリンク廃止 ファイルビューアに変更

【ボタンサイズ】 240×85 pix